

## 令和5年度 印西市立印西中学校 学校評価の総括

### 1 「教育方針・目標の理解」について

生徒に関しては、3年生が最も意識が高く99%が肯定的評価をしている。2年生は95%、1年生は91%であった。職員がよく理解しているのは当然であるが、保護者の肯定的評価が84%であった。昨年度より2.8P上昇した。学校教育目標を学校だよりのタイトルにして3年目となり、保護者の理解に役立ったのではないかと考えられる。

### 2 「意欲的な学習態度」について

生徒に関しては、1年生73%、2年生83%、3年生93%が肯定的評価をしている。現3年生の昨年度の割合は71%であったので、これまでの継続的な粘り強い指導と、受験への意識が高まったことの表れと考えている。ただ、1年生と全学年の保護者の割合が80%未満であるので、学習意欲向上のため指導方法の工夫改善に努めてまいりたい。

### 3 「授業力向上」について

「授業がわかりやすい」と回答しているのは、1年生97%、2年生95%、3年生97%となった。肯定的評価については、生徒が96%、保護者が73%で、その差が23Pと、昨年度より差が広がり、たいへん大きな差をとらえている。この設問に関しては、生徒と職員はほぼ同じ傾向を示すが、保護者との乖離が大きい。生徒と保護者のコミュニケーションの取り方や、保護者の関心を高めるための情報提供のあり方を工夫していきたい。

### 4 「家庭学習の充実」について

「家庭学習に励んでいる」と回答しているのは、1年生70%、2年生88%、3年生100%となった。この3年間の中で、家庭学習に励む生徒の割合は高くなり、安定してきたかに思えたが、今年度の1年生の割合は極端に低くなった。大きな課題である。

保護者の肯定的評価は昨年度と比較して-6.9Pと大きく下降した。1年生の保護者は63%、2・3年生の保護者の評価が70%台となっている。職員に関しては、家庭学習の習慣化に係る指導について、評価は横ばいであったので、次年度は個に応じた家庭学習の内容や指導方法について、さらに工夫改善に努めたい。

### 5 「友達への思いやり」について

昨年度に続いて、生徒、保護者、職員の意見がそろった肯定的評価である。生徒、保護者とも昨年度より若干下降しているものの、96%超と高い水準である。思いやりの心、豊かな心の育成について、引き続き指導の重点のひとつとして取り組んでいきたい。

### 6 「道徳・心の教育の充実」について

本校の道徳教育は、充実している。道徳教育推進教師を中心に全校道徳を各学期1回実施した。また、若年層教員とベテラン教員との相互授業参観を実施し、内容の充実のみならず、授業力の向上も図っている。加えて、人権教育にも力を入れている。

肯定的な評価については、生徒が95%、保護者は84%であった。昨年度と比較すると生徒は-2.6P、保護者は-8.6Pとなった。特に、1年生の保護者の評価が70%台と低かった。学校での実践内容を、学校だよりや学年だより、学級通信及びホー

ムページ等でさらに積極的に発信していきたい。

#### 7 「健康づくり」について

昨年度と比べて生徒の肯定的評価が+3.1Pとなった。下の学年ほど肯定的評価の割合が低い。保護者の肯定的評価の割合は-1.7Pであった。健全な心身の発達のため、多角的・継続的な健康教育を推進していきたい。

#### 8 「一人一人の児童生徒の理解と尊重」について

肯定的評価は、生徒96%、保護者83%であった。昨年度と比較すると生徒はほぼ横ばい、保護者は-8.5Pとなった。生徒指導の重点である生徒理解に努め、一人ひとりを大切にしたい。個に応じた指導を続けたい。

#### 9 「いじめ問題への対応」について

生徒に関して、肯定的評価は1年生96%、2年生92%、3年生100%であった。保護者の肯定的評価の割合は87%で、昨年度と比較して-3.0Pとなった。職員が初期対応の重要性を理解して、少しでも兆候が見られた場合、組織的に対応し、家庭との連絡も密にとっているため、引き続き丁寧に対応していきたい。

#### 10 「学校の支援体制」について

生徒の肯定的評価は、1年生94%、2年生95%、3年生100%であった。保護者の肯定的評価については、89%で、昨年度比-4.9Pとなった。相談・支援体制の充実、生徒指導の原点である。今後も力を注いでいく。

#### 11 「安全と事故防止」について

生徒の肯定的評価は97%、昨年度比-1.6Pであった。保護者の肯定的評価は94%、昨年度比-3.9Pである。安全に絶対はない。その姿勢を持って全校で安全教育に取り組んでいる。生徒もそれを理解しているし、保護者にも学校の取組を伝え続けたい。

#### 12 「施設・設備の改善・充実」

肯定的評価は、生徒が89%、昨年度比+5.4P、保護者が71%、昨年度比-5.1P、職員は23%、-9.1Pとなった。校舎の老朽化が進み、職員で可能な限り修繕を行っているが、その対応にも限界があるため、職員による肯定的評価が低くなっている。ただ、夏のPTA環境美化作業や、2月の同窓会環境整備作業を実施することができた。保護者や同窓会のお力をお借りしながら、「古くてもきれいな学校」を目指して、引き続き職員も生徒とともに活動していく。

#### 13 「家庭や地域との連携協力」について

肯定的評価は、生徒が82%、昨年度比+6.2P、保護者が78%、昨年度比-5.4P、職員については77%、昨年度比+1.1Pとなった。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、職場体験や職業講話、進路講話などを再開しており、保護者にも引き続き学校の取組を伝えていきたい。

文責 校長 渡邊 義規